

令和6年度 シラバス

教科	家庭	科目	家庭総合	学年	第2学年	学科 種類	商業科
単位数	2単位	教科書	未来へつなぐ 家庭総合365 (教育図書)				
副教材	家庭科ノート (高教研家庭部会) 調理実習ノート (高教研家庭部会) 2023最新生活ハンドブック (第一学習社)						

学習目標	人の一生と家族、福祉、衣食住、消費生活などについて学び、基礎的・基本的な知識と技術を身に付けます。 家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付けます。
------	--

キャリア教育の視点	家庭総合では、人の生涯に渡る発達と生活の営みを総合的に捉え、生涯発達の視点に立ち自立した社会の一員として、生きる力を身に付けることを重視しています。学んだ知識と技術を生かして、各自の家庭生活や地域の生活に深い関心を持ち、課題を見出し、これを改善充実しようとする積極的な姿勢を養います。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	B編 第1章 食生活と健康	食生活の変化や課題、食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解し、食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を学びます。	期末考査
	5月			
	6月 7月	調理実習5回	調理実習を通して、食生活に必要な基本的な調理技術を科学的な視点から学び、日常食を作れるようにします。	
2 学 期	8月	C編 第1章 生活における経済の計画	日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族に当てはめ、献立作成ができるようにします。  生活の基盤となる家計管理の重要性を認識して、キャッシュレス社会、契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者としての適切な判断ができるようにします。	期末考査
	9月			
	10月 11月			
	12月			
3 学 期	1月	第2章 消費生活と意思決定 A編	高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考えます。	学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	講義、ワークシート、実習、体験的な活動、グループ活動、発表、プレゼンテーションソフトを用いた授業など、様々な学習形態を通して、実践的、体験的に学習します。 ホームプロジェクト(課題)や家庭クラブ活動により、生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践し、科学的に探究したり、問題解決を図ったりします。
-------	--

評価の仕方	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について、定期考査、実習、ノート・課題の提出状況、授業態度、作品、取組状況などを総合的に評価します。
-------	--

備考	調理実習に使用するため、エプロン・三角巾が必要です。
----	----------------------------